

---

# ドン合唱団 with コロナ安全対応策・遵守事項

---

2020.10.01.

ドン合唱団

「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」(06.21 全日本合唱連盟)に則り、団員のより具体的な行動指針として作ったものです。

団員はこれらを遵守することとし、運営責任者(代表者、団長)は遵守できない団員には、他の団員の安全を確保する等の観点から練習を停止させることがあり得る。

## 団員の日常の安全対応策

### 1. 体調の管理

#### (1) 検温記録の義務付け

① 検温記録表(with コロナ)を用いて一日一回検温し記録し、一週間以内に平熱を超える発熱があった場合は練習に参加できない。(別紙1)

② 熱が無くても次の自覚がある場合は参加できない。

○嗅覚・味覚に異常がある ○からだが重い、だるい 息苦しい ○咳・のどの痛み等 風邪が疑われるとき

#### (2) 同居するご家族について

ご家族が発熱された場合。さらにご家族が属する職域、学校に於て感染者が出た場合は、それから2週間は経過観察期間とし練習には参加できない。

### 2. 必要最小限、慎重な対外活動

ここで言う対外活動とは感染者との濃厚接触の機会が多いとされる各種会議や飲み会などです。団員によってはこれらの参加が避けられない場合があるかと思えます。with コロナの時代にあっては感染防止に万全を期して必要最小限にとどめるようにする。

特に外部での多人数の飲み会、小人数でも長時間の飲み会に参加した団員はそれから2週間は経過観察期間とし練習参加は遠慮すること。

## 練習日の安全対応策 会場

1. 練習会場の設営・撤収、入退室
  - (1) マスクを着用し時間に余裕を持って来場し設営準備する。
  - (2) 会場の除菌（消毒）
    - ① 会場担当のパート・・・ピアノ鍵盤・指揮者机椅子 の除菌(消毒)
    - ② 各パート・・・各自パートの机椅子の除菌(消毒)除菌(消毒)：市販のアルコール濃度の高い除菌剤を会場担当パートが会場に準備する。
  - (3) 設営・撤収前後は手をよく洗う。
2. 入室時は検温して記録。除菌剤を使った手の除菌
  - ① 「練習日の検温記録表」（別紙2）を用いて出席者の記録を残す。
  - ② 入室前の手洗いと除菌剤を用いた手の除菌。
3. 練習会場内では身体的な接触を避けて、会話は控えること。

## 練習時の安全対応策

1. 練習時は専用のマスクを着用して声出しを行う。  
合唱用のマスクが市販されているのでこれらを用いる。  
例) パナムジカ歌えるマスク（東京混声合唱団開発）税込み 1430 円  
コーラスマスク（カワイ出版）税込み 1430 円 10月中発売開始
2. 団員の距離は前後2m、左右1m以上を確保し、位置は向き合わない。
3. 指揮者・ピアニストと団員の距離は5m程度を確保する。  
  
2. 3. のディスタンス維持から練習会場での参加者のキャパが決まります。南生学センター第一練習室では最大12名程度でしょうか・・・。
4. 連続した練習時間は30分とし、5分間以上の換気を行う。
5. 練習日当日の事務連絡やミーティングはできるだけ避けて、可能な限り書面やオンラインを活用して行う。
6. 練習終了後は分散退場し密集しない。 以上